本 草 集 要

杜柱为林平泉温岳委山的海州即前村中五条松柱为水平泉温岳委山的海州教学和文学有高温岳委山的海州教学中五条 之法中利所府本心股份痛虚礼特的風景通足太陽經過光及使利外以 扇枝扇出汗止吐软水其雜化堕胎近五水道 集要中部卷之四

菌柱 外年底温热委长发此枝外少分立 至百病養精神和颜色為清藥先時通使人服 聖身不老面上光華媚好常如童子 人版通神神才不光 用者草柱出枝條輕薄首為桂林宜入治頭 而發具那人去別表密而汗自止正年十段 散之最後人用柱止汗失經旨矢身幹厚實 飲汗益本有風犯故病自汗以桂枝温茶衛 月我衣收及寒仲素收表用柱枝非以其化 按三種之柱的出各具 為治亦特别世俗的

然性冬月與人多多門冬甘草同用能調中 為柱心又有嫩小枝條為柳桂外淡尤宜入 冬下部收府非此不除到去處房用近東岩 北與芬提為小查何被與為时同用全得 者為肉又宜人治機補野氣及下焦寒冷秋 治上焦樂及樣打手臂柱雖有小毒亦從類

《風皮膚不仁酒達服之煎汤沈五時男子陰私 校城為黑於以指菌去藏 O槐白皮味苦王中 治立時心痛眼亦敬肢藏蟲及然治太膚風并 乳狼子藏色痛又堕胎惟止在上柱治丈夫婦 英汁含之治·齒風用〇槐花味苦凉大肠热 不白延年〇槐枝洗為及陰囊下濕痒春林嫩 主五內外氣熱上涎味補地傷五時大者婦人 人陰應為拜在門岸湖人服明目補照益領題 治一切甚為爛鬼好外或青止指長肉消趣住 即種婦人在門伴痛小兒酱網社想至幸同人 三月山巴耳屯

相實力外十年為干無麦北姆及在两之使表前 京者名相 益行或破傷及任作湯散九直維持無用之亦 災急風口樂或四肢不收頑难或春風周身如 可水煮和指樂為文 腸風鴻血赤白痢並炒用〇槐 勝至一切風化 例不老輕身处年〇相葉尤良味苦溢氣做温 吸以座節股中重痛股肾中冷潤野際之來去 主點學安立藏益氣血除風速再來恍惚虚損 頭風與陽道大服令人潤泽其也耳目馳明不

松脂枝外者甘氣溢無養六日排通明 陰之要樂性多縣久将之大益 牌去以滋其 肺 亦白原血程身益流令人耐寒暑去温痹此補 四時各份方面保陰就主以血姐如痢血扇中 作末和油堂之生髮灸署凍糖〇相白皮主火 灼爛瘡長毛發葉同 或十九百日年世界女及小兒蟲廟大腹下之服然水下五光男女及小兒蟲廟大腹下 大風疾眉髮脱落羅大切指柳大日之服夜 黑血如茶脚色或樣血如波色者再來時光

改之或月九时精愈樣血片肌上獨抽風蘇之 前疼痛烧血中之温浸酒服〇松柏口皮苦温 年〇松寶主座鹿少氣補不是〇松藥苦温主 風存死肌麼節風悉風賴疾人限輕身不老於 今日如王安五藏於熱胃中伏熱明乾消渴及 請歷節風〇松節温主百節大風又虚脚連軟 爛用酒浸上日取酒服治腳氣風與不能行及 主祖老塘頭鳴白光乔燈風氣殺藏牙痛少许 酒服方寸七月三群温校除悉病多取青菜搞 風濕君生毛髮尖立藏守中不飢延年切如果

於於臣外甘淡魚手傷也無查入手太陰足太陽 少陽亦者入足太陰手少陽少路經察也都如 滿飲送口焦去就利小便水順淋結隔中處水 沒胸胁迷氣慶志當那志悸心下結痛寒熱煩 京秦芝鱼甲馬醋及酸物得松之餘氣而成 守中人服及過養神不飢处年 主件数不飢補劳益氯〇松花排取似蒲萬大 淡利农甘助防体温行水之程 樂日色者,補 肺後處塵胡胃氣收骨即降肺火益氣分保神 服整身摩病 者陰乾中州亦節最損目用宜去之

说明另外甘我平局易典走松前所此于摩 其有礼秋百名於神名主解不祥原風成風產 止血生肌合金店 總能養村 神神 分乏又治心下志順怪滿人屋而 五夢中乾止驚詩悉怒點爛子在開心益智安 安立城定记记我有处打龙原盘委刊小便通 赤色首利人亦言被結氣如小使多及汗多 五冰明月季野上心确放结破於血老後血量 陰虚者不宜眼 勝不利以而三之

枸松 外若氣寒恨之寒子微寒其毒人称根本 酸菜 选該氣干去麦匙防己八月松午 **隆标** 光堇 物皆自松出而所專各異庆茶生成於陰者也 膜人根堅筋骨輕身不透明目血虚用之 益村主及席骨節問風旨各風眼亦痛風好煙 主五内邻流熟中消汤周牌補內傷大劳強除 **绕珀生于防而成于隆故皆治荣而安心利水也** 井洪云能利小便以縣牌土有功若血少而 小便不利者及致躁急之苦口获於玩的二

絕子 外告名尽味海俊十萬也無走入手太陰 騎工下衛心虚煩人根持不得战年心心飲虚 記版是熱介結我聚四肢酸疼遇好筋骨風 主立內外流胃中越久西亦消起越鼻白頰亦 美汁胡服特点不快失也炒热竹葉湯胡服 汗止煩渴補中益肝氣壓筋骨的除狼人服安 ,颇為鬼目然亦痛 如州长安然下小使亦滋不 利治濕熱素黃加菌陳五政治區城加生美橘 五歲輕身延年大六時情多種熱也住用本葉

學本校黃原外苦做年氣寒陰中之陽降也為產 火丹溪六野方中用之 夢復既亡立亡活般藏府無潤養內生虚熱非 皮治心腹人痛如士美汁吾去心中各熱屋煩 足少陰經察足太陽引經察悉乾禄二月五月 此不除又能及由下行降火者開對治地中之 不得既反復期倒心中惧機又治大病汗下後 用蜜室慢火炙令蛋查住 九使用生蛋 少浸細紀再 輕浮而暴行也亦而奏火故治至高之分渴 肺中之火用 仁去心胸熱用皮去肌表热

至土成肠胃中結然其丹肠府止波痢女子海 下亦白陰傷無槍男子並上強美汁洗屑木傅 之實沙為末治口者詹又云配知辛治口君有 必用之來收骨獨膀胱熟清、使降相大治骨 神巧補衛不特能不足替接取腳膝無不鄉兵 慈劳陰緩洗肝明日節洪江至下五治此口痛 地如於今主心版百物逃绝不幾渴人取輕身 虚成坑出小虚扇人及通神〇根石檀在作结 心肝武古明十九一字研引移榜上用沙印吐起

淡蜜云下煩 主 餘苦 竹此竹氣 熱 数不竹 治熱葉鳳寶 消風逆入次 毒味風大毒 痙 辛加汁喉 味土排似氣楠經 0 說別歷 除

壅瘡熱〇止虚治作目吐竹驚少子 赤血皮 瀝 痛衂如温 用明血味疫 與利益統 竅筋寒兒 不苦喧澗四 根或傳葉黃醋 睡竹究天肢虚 **養取之和與清** 解葉噎吊非痰酒及膈莖此痰 竹姓益 亦如 妮少宙 瀝温 、一盘 同

止主主不不目主實 竹旦辟 逐水斷下人陰 搗生服麥 取肌不水非粉魚 十可饑膻 监叛至落 老氣 輕補毒 虚四取然除得小 主腰加 後鄰 有瓦 以户

主北加不利腎主少菜蛇 心川皮節暖氣心陰更盡 人 股 與 下 經 使蜂 腹様に 疝机味服膝陽邪風寒味大 氣除辛輕療道氣防實酸咬 苦身耳堅寒門遊氣明鳴長熱飲氣 温目止陰温乾中 微強女莖中認微 寒長月精濕時毒 度小 聴の不秘痺 はな核定精去 皮馬能老止三 能 t之滑人小 **参使精尿便補**

也 仲 酿 酒飲 補中益精堅 去参味 治治司 風禪四肢攣急延年 風弱 地

風主 亚 風 味者血椒 氣 乘 風痺 玄生 精神除 可火 服令思男 百首站 疾或冬 父云様 葉為 服即業 月使 肥冬似 日本日

主藥災上桂根身 服腹河. 去寫 用以肺脉肠 少落者心白 縫水有魚魚 月入段东皮 人子 使 探书 味 此縫 無之其 鹽水主熱腹血煙鄉 附使 問思氣 去鐵 温 青见無 蛇熱塗水勞中蟲風之道客脉 黄铅毒 蔣東 弱痛 唐去熟絕 子 消 補 蚁出安 勿者ス 金白痰 咬汗 上土断領

傅之 主蚂农产 皮 氣 子漏下赤勺。今净得入香 之!效! 兒 痛陳汗 可 良 病桑 耳味其有 桑幺瘕味 輕 聚 皮更 明 蛇剥

神血長主然上點漆封變 不鬚腰相寄孔又閉白 止眉痛贴生中取懸不 産主小生杯臣即二屋 後金兒雖味生七東取餘瘡背襟苦黑放頭黑 和一者胡百一 桃白斤脂化和 乳女腫的平 汁子安假鄉無 研爲科 其崩胎系維毒 如黑斗 明不肌氣楓無木 泥泥子 **核** 杂 一 斤 目足層耳等採魚 輕懷堅上将軍 白髮艇 身姓髮 者生 髮如盛 通漏齒 自意

合飲不機取 骨禁可洗衣服輕身明日 臓 老 照利心志令人 筋益氣 無毒八手足太 歡 清义 (可適遠方日進) 樂無憂補 又皮煎膏消 浸輕飲す

榆皮煎枚 主黑並 虚君 補中藥內無用之夜多小便者過甜氣治脾胃中受寒邪止嘔歲恆症漏小便遺瀝益氣安神補不足 人服輕身 漏相 能 平性滑利無毒黑見 肺不水 去皮 殺諸蟲、除邪氣 用 消多時 月皮 採取 實白

でである。京がおり、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本 0花 氣卒心痛療小 と質 . 52 碎不炒色 麻 補中續筋骨填髓腦安五 小 添去長點人 湿率消瘀、血痞結腰痛女子疝 七末白 辛 過削年深積 入鹹辛華禿 兒 用 越氣温有毒平夏為之使畏地令庭極易 思知 當此姓城清胎是死者 當此姓城渭胎具兄鸡人 使不利伤熱 頭瘡亦充义 服輕身耐老 治血氣心痛去 臓 五 緩 辦鶏 發 煅 六

荆實 治 太陽 截於人上 除骨間寒熱通 蟲人 實 旋 以陽頭痛頭昏問散日蛙人服輕身耐老主 ※ 若鳥 頭 味苦氣温無毒 - Charles actual tops 焼承取瀝飲之 頭凌 利問 石黑 頭 欬逆下 7 NO. 侩 ÷ E 宜 乾使 悶 煩熱頭 氣 〇

TOTAL HONOR 竹澄實痰用荆瀝二 太百熟赤炮酒鼓西太百熟 明明月刊 1 首消消黄黄連石 四種引齒痛眩 可自增年耐老 引齒痛眩胃 To the same 味開經 一品なてる 悪 膏脂

舒縣 秦皮 主 小見 臣服心味風腹 寒濕痺洗 寒井产 熱兩目赤 苦氣寒無毒 結氣明 氣微寒 洗寒氣除熱目中 腫疼痛風淚 目目亦 脍 具大 乾去 核 服 上 足 莫烏忤 乾读 青翳 恶惟

欒華 日調輸蒸 味鹹氣平無毒此 氣攻眼 公出傷皆消目腫南人 五央 **眵淚消目中** 月縣花 者色黑 取以人 使 如成 却酒 添竹 五時 六文

治 丰 口氣齒痒 腺 名 氣温紅 方寸七 霍 與常黑 、選別魚 病能變 香香 薑 之西 色域 陽

冷氣麻 經

經通 痛妙又治心腹 悪毒風毒醋 能 胛 調氣而清香引芳香之 順氣烏藥則理 **味越辛氣温無毒入手太陰足心** 明經 以薑棗將 霍亂中恶甩氣 人黄耆四君子 一寇縮 砂

藝熟 工中香港形腦 香為佳以香中 飘煖州 No. 與 而 溪 同形屬 用飛火 佳局知 附方其 兒童 助然人身高通利然 作净温 風明 以认 禹 涎目 而和陽 門建及暴 然 承告 無 陽貴 之花毒 動其 清者国波

要息香 怪易點辛思之思 ·惡氣鬼疰治邪氣魍魉鬼 味辛苦氣平無毒 (龍脳性 者吞之氣 清喉点 TA 躁寒

涌去恶氣

胸 並大 核乾 辛温 散 麩東 酒箇 蓬童 薻 用去 調便 至 三局之

實里主勝風寿運生所是清服地 冰月王 **想然結胃用之又,** 學血故治心下痞 於陰無毒棟 則 脈 草用九斤 脹 糊病 脾滿 心 末井く

霍亂胃中冷逆嘔吐吸 破宿 住寒 入水 一典温中花 血 仙血治腹 風傷寒頭痛寒熱驚悸氣血痒禁去完皮生薑汁炒用 治在 實大黃同 東温内陽 下氣厚腸胃走 八能 無毒乾蔥 用之 澤為

落苦茶, 與 温 が泄利 足茶分則厥統茶補 一無消宿食夫人無済宿食 陰松也 藥 向用則 脂令人少 肠胃盖 同 滯 則 治傷 壅睡 日

猫 使 <u>ıŁ</u> 和令 九黄 氣温 病並 調貼 間冷 治 散色 可摩 别 服 毒農 大花 黄鸟 連使 用惡 之樂 痛貼 去草 即目

云去胃中 便毒 路關耐欲蟲之奪如死程 無妙皮粉 猫惡開 率 州 研若 不傷 ○ 虺排 緩治 治

主卖政策 築治 精 使以戲 風如思 **連** 指奏 袓 辛品新 死利 勞 蟲 ALL CONTRACTOR 思 脹風皮青有 頭子人 治立 破淚縣 悟卒 出炙苦 堅 5 胎 頭痛 闢

主可洗 黄 温生七 盛服之立通! 洗多 仍接 醋 汉此 心並

陰經 脹滿從脚 味味 - 1. J. J. 無濕證 至

開 淵 理 上治寒止 胃心 苦月太 汁九 陰 逆六 熱過乾 除 得除然危經上 湿地 忍 濕後用惡蓼 良下原 血用先刑實 削轉 下脾胃 参為 鄊 石使

蜀城神 女 去炒 (黄使) 敖出 去汗 日取温 温 服 温瘧 去模即 開防 黄鳥 更 者畏 乾使 用畏 湏款

蛇毒人 唇煎湯一次 蛇 服之 頭不白 捣為 月勿食之 能行 調臨睡 輕 好增年 治水蟲又 口閉 效 云多食 O⁻ 椒 出椒

はお日本は日本日本は「アンフトラード、大方 再頂 易更 温 通 B 煩凝此 人無 胃 7 小毒種有 腹 根和 根椎 白維 生二

訶 麒麟 之歌 那不不可 " 爽 味瀉 勒 開井 味苦酸氣 如似味咽苦治腺粒中喉故肺 鹹不有 上氣氣利 温并 平含 育 性急喜降無毒六 有小毒 降火之 煎 結氣 痢赤白及氣 功 勝 氣產者 滿喘急 似用 但海 内稜 血母 割 厚黑 鸿血

血中 一痛之要禁也又治证 公崩中带下癥瘕血品 飲之

衞 血 功 刺風〇 下苦後桐藍及亦 血子好小主金 腹寒暈大星兒狀瘡烟魚 汗毒坚大三五件物 主者者 産不不後入場 血藥非 邪取採件便先末和 目 濃米酯水摩 殺波图 思羽乾 飲報温點 下和服瞳 用

煮主杖 建 天哲 宜 月根服之上通利月水破留血痕以根 氣微温 諸小 味故熱 也療 ~ にきっ じたり 血 滋養 着此 竹竹 成內 片所 者生 郊 名黄

Re. 悶欲 滥櫚 苦 風赤白痢 氣血去止 皮 遊氣平 衂吐 奥洪 服逆 風 前中 無毒 血 譋 带 破 癥 ②養血○ Carl State Control Control

瘾 脂 水客下柳一風疹陽苗而有架名瘡風香 香名白 推 苦氣: 痛外科家要樂 〇十 亦瘡煎煮 妬血痂 乳〇枝 花有 乾黄 細及以 深葉 方者 洗絮 根 出為 皮馬

教白膏 电软自除 即山不止人服令人陰痿的山不止人服令人陰疾外小見百病除皮中熱利丈夫不利 入11 乔温 祭馬齊行 地之 用使

五倍子 味苦酸氣平無毒 上清惡產 中治頑疾有功又解諸熱毒又治腸虚中治頑疾有功又解諸熱毒又治腸虚中治頑疾有功又解諸熱毒又治腸虚 水飲之劑也 生諸惡痞蹇喉痺蛇犬咬毒取根研咒 查亦塗又治馬心肺熱等疾 痛禽

指 主 崇 角 東海小色主木 悪蝕蹇 根住痢根疥皮女祭票風 葉風 水子口尤疽煮血鼻良水 五轨桐 痔 是有 及三虫〇花士 花花艺 便白腸白皮類

三倍切瘡所皮膚掻痒〇葉搗傳猪瘡主熱去三蟲療目中疾煎湯洗小 味苦氣平無毒 紀紀杜熱 煎

不覧 味甘氣温無毒不可多啖引火入肺滑大腸主五痔去三蟲蟲毒食其子自 特良又乳種 傷消結腫悪瘡生肌止腰痛吁 牙其氣温無毒多啖引火入肺滑大腸 初發腫硬以無灰 伙 澗悉主 腫

旅行 主六畜猪中蛆捣碎納之蛆盡出旅竹并 味苦有小毒 為末和粉粉身上主汗之以子新造屋柱下四 抵 完 指 主 小 見 惡 氣 霍 亂 水 和 飲 之 主 垂 病 活 雖 入 腹 為 病 如 廢 瘦 者 表 汁 彌隅 所 敗者 住 求 不 、

本堂			
本草集要中部卷之四			
中部			
卷之			
四			
	 		
	ŀ		